

大仙信仰

田植唄を記録した川島大橋本の中に、次のような歌が出ている。

「大山の下山様はなに神か 諸国の牛馬の守り神」

「大山の横手の上にある笹は 諸国の牛馬の御符の笹」

このように、当地域の篤い大山信仰は、牛馬を家族の一員として扱ってきたことからこそのものである。それぞれの村には、大山が遠望できる高い山などに大仙さんが祀ってある。

森の大仙さん

- ① 飯山頂上から白滝山へかけて美しい稜線が続くが、その一番高いところに平岩がある。その平岩から大山が遠望できるため、森村の大仙さんが祀られているが、わざわざそこに行かなくても地元湯谷集落の入り口に遙拝所が作られている。



平岩の大仙社



平岩大仙社のそばより大山の方角を臨む



森湯谷の大仙さん遙拝所